

2015年12月9日

阪口 功(学習院大学)  
isao.sakaguchi@gakushuin.ac.jp  
TEL: 03-3986-0221 内線 4820  
法学部共同研究室 内線 4800,  
4801, 4803

阪口 功

### 1. 課題

- ・ 就活などでミニテストを受け損なった学生は、下に挙げられた課題図書から1冊を選び、筆者の主張を簡潔にまとめた上で、自分の考えをしっかりと展開し、**2500字以上**（上限なし）で「書評」を書きなさい。ただし、一学期に提出した課題と同じ課題図書を選ぶことはできない。
- ・ ミニテストの結果が不安な学生も、この課題に取り組むことで加点評価する。
- ・ 1度ミニテストを受け損なった学生で、かつ受けたミニテストの結果も不安な学生は、**2つ**の課題文献に取り組み提出することを認める。その場合、1つのファイルに**2つ**のエッセイを、ページを分けてまとめること。

### 2. 文献

- ・ 石井 敦 編『解体新書「捕鯨論争」』新評論、2011年。
- ・ 石井 敦、真田 康弘『クジラコンプレックス:捕鯨裁判の勝者はだれか』東京書籍、2015年。
- ・ ジェニファー・クラップ『地球環境の政治経済学：グリーンワールドへの道』2008年、法律文化社。
- ・ 井田 徹治『ウナギ：地球環境を語る魚』岩波書店、2007年 / 村井吉敬『エビと日本人II』2007年、岩波書店。※新書・2冊について
- ・ ミランダ・A. シュラーズ『地球環境問題の比較政治学：日本・ドイツ・アメリカ』2007年、岩波書店。
- ・ 阪口功『地球環境ガバナンス：ワシントン条約とNGO・国家』国際書院、2006年。

### 3. 提出期限、方法など

- ・ 提出期限
- ・ 12月23日の授業にて提出

\*授業で提出できなかった学生については「[isao.sakaguchi@gakushuin.ac.jp](mailto:isao.sakaguchi@gakushuin.ac.jp)」に電子ファイルを添付して12月23日中に日付が変わる前に提出すること。ただし、PDF、ワード以外のソフトは不可。